

(参考) フラッグシップ2020プロジェクト (ポスト「京」の開発) 体制等について

- 最先端スパコンの開発は将来導入されると見込まれる技術を前提に開発を進めるものであり、不確実性や予見不可能性が大きいいため、国、開発主体、開発担当企業が密接な連携を取って、本プロジェクトを推進することが必要である。
- そのため、プロジェクトに関与する三者間によるプロジェクト管理の連絡調整(状況確認、意見交換、課題の抽出、必要な対応の検討等)を円滑に行い、国費総額1,100億円の大国家プロジェクトを着実に推進していくため、文部科学省、開発主体及び開発担当企業からなるプロジェクト推進三者会議を設置する。

